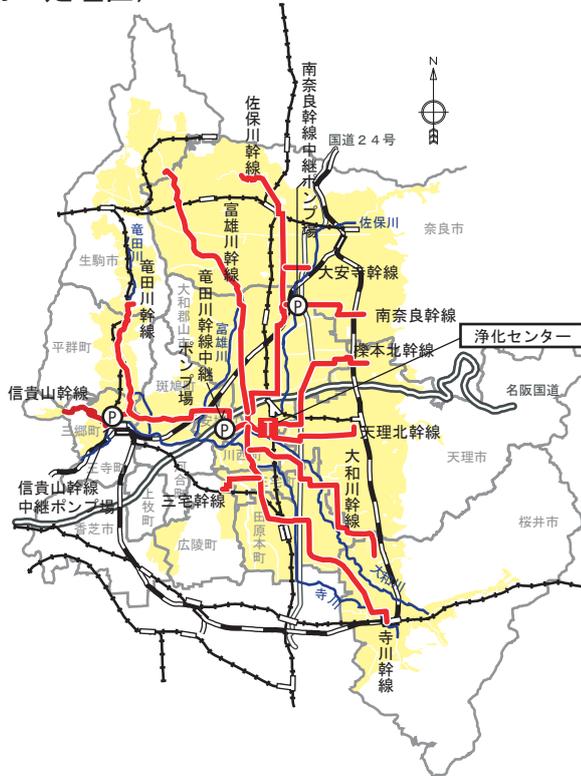


(1) 大和川上流・宇陀川流域下水道（第一処理区）

水質汚濁が目立つ大和川を守るため、主に大和川右岸の各市町を対象に本県最初の流域下水道事業として、昭和45年度より事業に着手しました。昭和49年度には一部施設が完成し供用を開始しています。

施設としては、終末処理場（浄化センター）、ポンプ場（南奈良幹線中継ポンプ場、竜田川幹線中継ポンプ場、信貴山幹線中継ポンプ場）、管渠（佐保川幹線ほか10幹線、総延長約96.4km）を計画し、現在、浄化センター（水処理施設、処理能力322,200m³/日、汚泥処理施設）、ポンプ場（南奈良幹線中継ポンプ場、竜田川幹線中継ポンプ場、信貴山幹線中継ポンプ場）、管渠（完成延長約96.4km）が完成しています。



大和川上流・宇陀川流域下水道（第一処理区）

○全体計画

処理場所在地	大和郡山市 額田郡南町	計画日最大汚水量	290,896 m ³ /日
処理場面積	57.5ha	処理能力	301,950 m ³ /日
排除方式	分流式 (一部合流)	処理方式	<ul style="list-style-type: none"> 標準活性汚泥法 嫌気無酸素好気法 凝集剤併用型ステップ 流入式多段階硝化脱窒法 +急速ろ過法
目標年次	令和17年度		
計画処理面積	25,493ha	予定処理水質	BOD 7mg/l T-N 11mg/l T-P 2.0mg/l
計画処理人口	648,934人		

○事業計画（平成30年2月届出）

事業期間	令和6年度	処理能力	322,200 m ³ /日
計画処理面積	15,587ha	計画放流水質	【標準法】 BOD 11mg/l T-N 15mg/l T-P 3mg/l 【A2O法】 BOD 10mg/l T-N 12mg/l T-P 2mg/l
計画処理人口	655,900人		
計画日最大汚水量	294,000 m ³ /日		
処理方式	<ul style="list-style-type: none"> 標準活性汚泥法 嫌気無酸素好気法 		

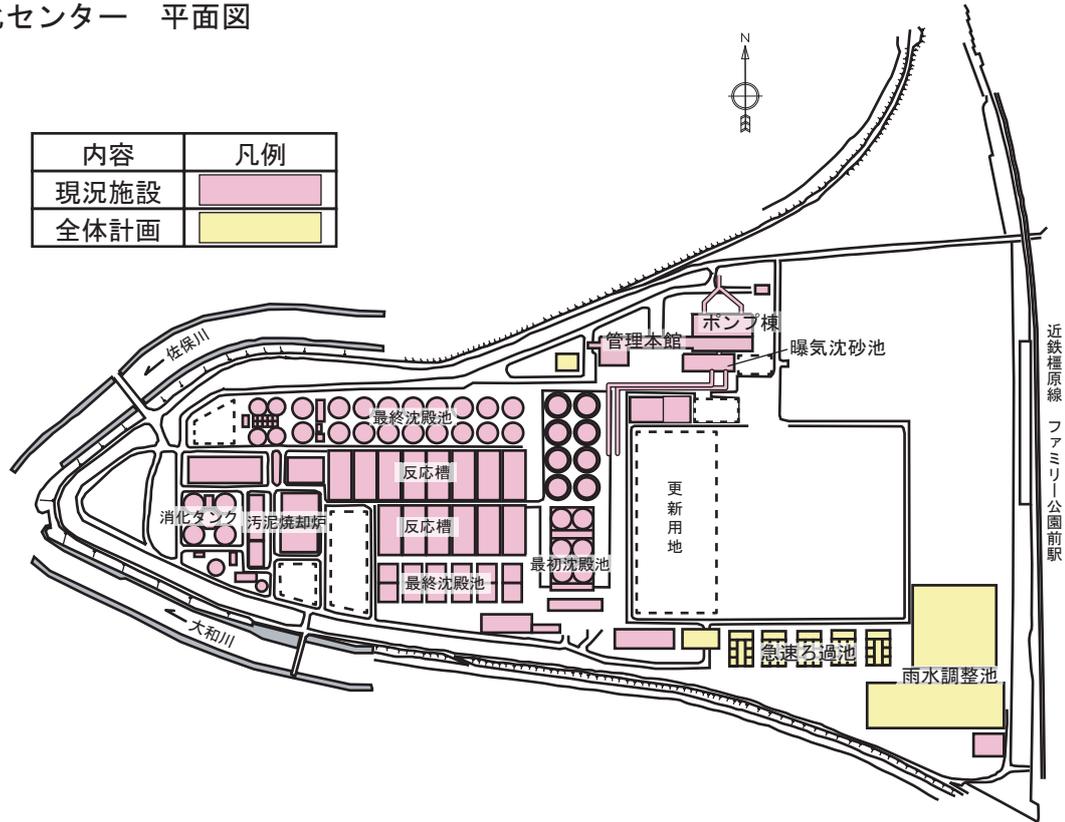
○令和2年度末実績

供用面積	11,437.9ha	日平均流入下水量	238,800 m ³ /日
供用人口	667,006人	処理水質 (年平均値)	BOD 3.4mg/l T-N 7.9mg/l T-P 1.08mg/l
処理能力	322,200 m ³ /日		

○管渠供用状況

幹線名	計画延長 (m)	管径 (mm)	R2年度末供用	
			供用延長 (m)	供用率 (%)
佐保川	16,876	3,500 ~ 900	16,876	100
富雄川	14,026	1,800 ~ 1,100	14,026	100
大安寺	1,392	1,800 ~ 1,650	1,392	100
天理北	5,385	1,650 ~ 900	5,385	100
南奈良	4,552	1,350 ~ 350	4,552	100
寺川	14,390	2,200 ~ 1,350	14,390	100
大和川	10,848	1,350 ~ 900	10,848	100
三宅	2,284	1,200 ~ 900	2,284	100
櫛本北	7,966	1,350 ~ 450	7,966	100
竜田川	14,126	1,650 ~ 900	14,126	100
信貴山	4,559	450 ~ 200	4,559	100
合計	96,404		96,404	100

■ 浄化センター 平面図



■ 浄化センター 航空写真



(令和2年9月 撮影)

■ 流域関連市町

奈良市、大和郡山市、天理市、桜井市、生駒市、香芝市、平群町、三郷町
斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、田原本町、広陵町